

Q1 9月26日

(解説)

8月6日は広島に原爆が投下された日

8月9日は長崎に原爆が投下された日

8月15日は終戦記念日

Q2 空腹感

(解説)

原子爆弾による放射線は、被爆直後の急性障害（発熱、吐き気、下痢など）だけではなく、その後も長期にわたって様々な障害を引き起こし、被爆者の健康を現在もなお脅かし続けており、放射線が年月を経て引き起こす影響については、未だ十分に解明されておらず、調査や研究が現在も続けられている。

Q3 学童疎開

(解説)

学徒出陣とは徴兵が猶予されていた大学生が、兵力の不足から学業等を中断して戦争に動員されたこと。

学徒（勤労）動員とは労働力不足を補うため、中等学校以上の学生が軍需工場や農作業に動員されたこと

建物疎開とは空襲による火災の延焼を防ぐため、建物を取り壊して防火帯を設けること

Q4 略称：SDGs 世界的目標：17 達成基準：169

(解説)

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略で、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標。

幅広い分野にわたる課題（貧困・飢餓・教育・気候変動・平和など）を網羅し、具体的な行動を促すための17の目標と169の達成基準が設定されている。

Q5 核廃絶!! 世界に叫ぼう われらの町から

(解説)

吹田市は、昭和58年（1983年）8月に「非核平和都市宣言」を行い、広島・長崎の惨禍を繰り返すことのないようお願い、非核平和への思いを込めて、非核平和都市宣言啓発標柱を市内に14基設置している。

標柱に記載されている標語「核廃絶!! 世界に叫ぼう われらの町から」は市民から募集し決定された。

Q6 ウッドロウ・ウィルソン

(解説)

ジョージ・マーシャルはアメリカの軍人で、戦後国務長官・国防長官を歴任。ヨーロッパ諸国に対する復興援助計画である「マーシャルプラン」を提唱し、1953年にノーベル平和賞

を受賞した。

オースティン・チェンバレンは閣僚職を歴任。ロカルノ条約を締結しヨーロッパの緊張緩和に努め、1925年にノーベル平和賞を受賞した。

セオドア・ルーズベルトはアメリカ合衆国第26代大統領を務めた。日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の締結に尽力し、1906年にノーベル平和賞を受賞した。

#### Q7 部分的核実験禁止条約（PTBT）

（解説）

本条約は地下での核実験は禁止されておらず、大国の核開発を抑止する効果は限定的だった。

その後、地下を含むあらゆる空間での核実験を禁止する「包括的核実験禁止条約」が1996年に国連総会で採択されたが、発効要件国（核兵器保有国を含む）の批准が完了していないため未発効である。

#### Q8 地底の太陽

（解説）

1970年の大坂万博当時、太陽の塔が展示されていたテーマ館の地下展示に「地底の太陽」といわれる第4の顔も展示されていた。

#### Q9 ジャン＝ジャック・ルソー

（解説）

無知そのものは悪を直接引き起こすわけではないが、誤った考えや推論が危険な罪悪を生む原因になる。という意味で、この言葉はフランスの哲学者ルソーの著書「エミール」に登場する。

#### Q10 内平外成（ないへいがいせい）

（解説）

文恬武嬉（ぶんてんぶき）

…世の中が平和なことのたとえ。文官は心安らかに落ち着いていて、武官は日々を楽しんでいるということから。

草滿圀圍（そうまんれいご）

…平和に収まっていて、よい政治が行われ、犯罪がないことのたとえ。

永世中立（えいせいちゅうりつ）

…多国間で戦争が起こっても介入することなく、自国の中立を他国から保障、承認されること。